

## 第2回 江府町学校運営協議会【概要記録】

■期 日：令和2年7月15日（水）

■時 間：19：00～

■場 所：江府中学校 多目的ホール

<会議出席者>

【委員】宮本会長、井上裕吉副会長、井上廉女委員、小椋委員、高津委員、遠藤委員、藤原委員、中川委員、長岡委員、山本委員、瀬尾委員、竹内委員

欠席：船越委員

【事務局】加藤課長、景山課長、森田教頭、山本教頭

### 1 開 会

会長

第2回学校運営協議会を始めさせていただく。梅雨に入ってからジメジメした日が続いている。7月になったら少しは暖かくなるかと思っただが、毎日雨が続けている状態。新型コロナウイルスに感染された方が東京から来られて鳥取県西部で発病された。これからだんだん入ってくると思うと、恐怖心を感じるとともに十分に注意していかなければならないと感じている。皆様も十分気を付けていただきたい。この学校運営協議会も、そういったものが入らないよう願いながら運営を続けていかなければならないと思っている。

今日は、部会も開催する。事務局から（部の所属について）案も示していただいている。それについても協議をしていただけたらと思っている。よろしく願いたい。

### 2 説 明

#### （1）学校教育目標重点化シートについて

小 校 長 ○学校要覧に書いてあることを目標に、今年1年間がんばることを重点化シートに落とししている。

○学校では、「自己評価表」をもとに、先生方で中間評価、最終評価をしており、その評価を皆さんにお示しするように考えている。その内容を、町の様式である「重点化シート」に落としこんでいる。

シート1「『ふるさとを誇りに思い、自ら学ぶ意欲を持つ児童の育成』を実現する学校経営」

<努力事項> ○自分の思いを表現し、主体的に学ぶ学校づくり

○「ふるさと江府」の良さがわかる学習や活動の場づくり

シート2「自ら学ぶ子【知】」

<努力事項> ○授業改善 新学習指導要領の適正な実施

○学びの基礎づくり

シート3「支え合う子【徳】」

<努力事項> ○児童が活躍する場づくり

○自治的な活動

シート4「心と体を鍛える子【体】」

<努力事項> ○健康教育の推進、感染予防対策

○たくましい体づくり

※それぞれ具体的方策、予想される変化や効果、評価項目・指標や方法について説明

中 校 長 ○1 学期は、新型コロナウイルス対策として様々な行事が中止・延期になった。修学旅行も4月から9月に延期していたが、感染のリスクが高いということから、やむなく中止の判断をした。

○県総体、中国大会、全国大会等も中止になり生徒も目標を見失っていたが、県総体の西部地区大会だけは、3年生を中心に実施をすることになった。

○6月実施予定だった職場体験学習も、9月に受け入れ先の理解を得ながら実施する予定。  
シート1「(1) 確かな学力と、学習習慣の定着を図る」

<努力事項> ○学習・教育環境を活用した教科指導の充実

○基礎基本の定着を図るための取組の充実

シート2「(2) 安心安全な学校生活と、コミュニケーション能力の向上を図る」

<努力事項> ○家庭や地域、関係諸機関等の、学校の教育活動の状況等に対する理解の促進

○生徒理解の促進と組織的対応

○コミュニケーション能力の向上と良好な人間関係づくりの推進

シート3「(3) ふるさとを愛し、未来を担う人材を育成する」

<努力事項> ○地域と連携したふるさと教育の推進

○保育園・小学校との連携

※それぞれ具体的方策、予想される変化や効果、評価項目・指標や方法について説明

会 長 両校から説明いただいたが、聞いてみたいことがある。

副 会 長 「評価項目・指標や方法」について、小学校はA、B、C、Dを%で表示してあるが、小中同じか。アンケート結果の分析になると思うが。

小 校 長 同じアンケートのものもあるが、学校独自のアンケートもある。学校評価にある項目を教師、保護者、子どもにアンケートして集計している。

中 校 長 「江府っ子アンケート」は教育委員会がしているものなので、それについては共通項目になる。

副 会 長 評価の基準値は、それぞれの学校で設定されるということか。

中 校 長 ABCはつけないが、肯定的評価70%以上を目安にしている。

副 会 長 小学校の「自己評価表」では中間評価を設定されているが、中学校でもされるのか。あるいは年度末にされるのか。

中 校 長 例年12月～1月に1回アンケートをするので、中間評価はしない。

副 会 長 小学校の努力事項「自治的な活動」の中で、「6月に議題箱を設置」と書いてあるが、これについて報告出来るものがあれば紹介いただきたい。

小 校 長 出てきた議題は代表委員会で話し合うようにしている。出てきた議題として「呼び捨てをやめよう」というものがあつた。代表委員会で「呼び捨てをやめて、ちゃんと『くん』『さん』を付けて呼ぼう」という目標を設定し、1か月取り組んだ。学級でも議題箱を設置するようにし、誰でも意見が言え、吸い上げられるようにしている。

委 員 両校に共通するものとして、ICTの活用ということがあつた。インターネットを使ったようなことはされているのか。

- 小 教 頭 各教室に電子黒板を置いていて、インターネットの映像を見たりしている。電子黒板なので、子ども達書き込むことも出来る。自分の書いたノートを映して、そこに書き込みながら説明をするようなこともしている。4年生以上に一人1台タブレットを導入しており、授業の中でタブレットを使って自分の考えをまとめ、それを電子黒板に映して説明するようなこともしている。情報をタブレットからタブレットに行き来させるような操作も出来るようになってきている。ICTを活用して自分を表現したり、情報をやり取りしたりするようなことを身につけてきている。
- 委 員 指導する先生はおられるのか。
- 小 校 長 町がICT支援員を任用してくださっているので、教材の作成支援などいろんな面で支援をしてもらっている。遠隔授業も出来るよう、先生方が研修をしている。e-ラーニング教材も導入し、子どもに合った学習も出来るようになってきている。
- 事 務 局 インターネットについては、これまでも活用してきたが、コロナ禍の中でWeb会議が進展してきた。今後はそのような活用も出来てくるのではないかと思う。中学校で実施予定のアントレプレナーシップスクールの授業は、講師が東京の方なので、それを活用する予定。今後は、そういった活用が図れるよう整備を進めていく。

#### 4 協 議

##### (1) 部会協議

- 事 務 局 前回の協議をもとに、所属の部会の原案を考えさせていただいた。
- ◆学校行事支援部：井上廉女委員、高津委員、藤原委員、瀬尾委員、(事務局：景山)
  - ◆健全育成部：船越委員、中川委員、長岡委員、山本委員、(事務局：森田教頭)
  - ◆地域活性化部：宮本会長、井上裕吉副会長、小椋委員、遠藤委員、竹内委員、(事務局：山本教頭)
- 委 員 保護者代表が全員健全育成部になっているが。
- 事 務 局 家庭教育の面と関係すると考え、そのようにさせていただいた。
- 委 員 保護者は分かれるのかなと思っていた。ほかのところにいかないというのはどうか。どこにしても保護者が関わっていくことになると思うと、分かれた方がいいのかなと思う。
- 会 長 自分はこちらに行きたいという希望があれば、希望を優先するが、全部を組み直すとバランスが崩れるかなとも思うが、皆さんはどうお考えか。
- 委 員 誰に何をやってもらいたいという考えがあるのか。
- 事 務 局 地域代表の方ではあれば、地域活性のために子ども達と何が出来るのかを考えてもらえる、観光協会であれば町づくり、健全育成部については家庭教育を含め、保護者代表の方や青少年健全育成町民会議の代表の方、学校行事支援部については、これまで実績のある方、推進員の方といった点を踏まえて部を考えさせていただいた。部会協議の後全体で協議いただくことが大事だと思うので、そこで意見を話していただけたらと思っている。
- 会 長 とりあえずこの案で進め、問題が出てくれば再編成するということでよいか。
- 事 務 局 立ち上げの年でもあるので、この割り振りではうまくいかないこともあるかもしれない。その場合は柔軟に考えたい。今日の部会については、このメンバーでお話いただきたい。
- 会 長 特に希望がなければ、この所属で願います。
- 事 務 局 ※地域協働活動についての資料を説明

この後の部会協議の参考にさせていただきたい。

会 長 このあと部会協議をしていただくが、出来れば1つは出来そうな案を考えていただきたい。それをもとに全体協議をしていきたい。

事務局 まず、部長を決めていただきたい。後で部会協議の内容について発表をお願いする。部会では、「どんなことが出来そうか」「それをするとどんな効果が期待出来るか」「具体的な方法や準備は」といったことについて協議いただきたい。目指す子ども像に向けた活動ということ、学校の課題や江府の子ども達を伸ばしていくためにといった視点で話していただければと思う。

会 長 各部会1つは考えていただきたい。初年度なのであまり無理をしてもいけないかなとも思う。運営協議会のメンバーだけで行うのではなく、広くいろんな方を誘いながら出来ればと思う。では、部会協議を始めていただきたい。

———— 部会協議（30分程度） ————

## （2）部会発表

### ●学校行事支援部会（部長：高津委員）

高津部長 大きく2点、野菜作り支援というのと遊び場整備というのが出てきた。野菜作り支援というのは、江府町には野菜の専門家がたくさんおられるのでそういう方を募って、小学校の子ども達が野菜が出来るのを喜ぶということで、そういったのに関わっていただければと思う。人材が不足しているというのがネックだったので、ボランティア募集も合わせて行っていただければ。遊び場整備というのは、小学校では法面で遊ぶ子が多いということでそういったところの草刈りとか、こういう遊び場が欲しいという案があればそれを作っていく。これは小学校だけでなく中学校も同じ。中学校は畑がないのでポット栽培とか。中学校だったらこういう遊び場が欲しいというものを生徒に募るとか。例えば木馬とか。木馬が欲しいか分からないが、案が出たら実現に向けてこっちが動いてあげるとか。多様な技術が求められるかもしれないが、どちらもエンターテインメントの要素が含まれていると思う。喜びを作っていただければと思っている。

委 員 これまでにない発想でやるというのはワクワクする。学校の教員も自分で出来ない。技術もないし時間もないし出来ない。こんなのがあったらいいなとは思っているが、それを実現してくださる地域の方がいらっしゃったらいいなと。小学校も中学校もこういった発想はなかったなというところに期待している。

### ●健全育成部（部長：船越委員<本人欠席>）

委 員 子どもたちが健全に育成するためにはあいさつをするとか、地域の方と接したり、関わる  
(部長代理) 中でいろいろ教えてもらうことでそういったことの基本も出来ていくのかなという話が出た。江府町の行事がいろいろあるが、ボランティア体験に子ども達も一緒に出て、その中で活動をしながら（地域の方に）あいさつも出来るようになっていければと思う。そういうことが健全育成に繋がるのではないかという意見が出た。今後そういうボランティア体験を何か繋げられるような話し合いを進めていければなというところ。それから、メディアの使い方、接し方で、使い過ぎになったり、子どもたちが睡眠不足になったりとか（の課題がある）。そういった（メディアとの）接し方、使い方を何か勉強したいなということ。大きなところでは以上の2点。

●地域活性部会（部長：小椋委員）

小椋部長 江府町はいろいろな文化がある。伝統芸能も含めていろんな文化がある。江尾のこだいち踊りとか、天神太鼓とか、下蚊屋の神楽とかいろいろある。とりあえず一番最初にとっかかりやすい、取組やすいというのは神楽かなという話が出た。最近集落で神楽をする事もここ10年20年ほとんどない。小学生中学生の子どもさんを含めて神楽がどういうものかというのもほとんど知った人が少ないだろうということで、まず観てもらうことから始める。それによっていろんなところに興味を持ってもらって、もう少し深く掘り下げて体験をしてみたいとか、話を聞きたいというようなことがあれば、その方向にもっていく活動を深めていくというようなことも出来るんじゃないかなと。まずは観てもらうということが、とっかかりとしてはいいのかなということで、小学校と中学校と教委で時間等の調整をしていただいて下蚊屋の神楽保存会に来てもらって、さわりだけでも観てもらうところから地域の繋がりが少しでも高まっていかないかなと。いろんな方法はあるが、とりあえず最初のとっかかりは神楽から始めるということで話があった。もう1点は社会福祉協議会も今いろんな活動をされているので、これも将来的には社会福祉協議会と協賛させてもらって地域の子どもたちと地域とがうまくかわりあいが出来るような行事を持ったらいいのかなというようなことが出た。

(3) 全体協議

会長 学校行事支援部会の方からは野菜作りの支援ということ、これについてボランティア募集をしながら進めたらどうかという提案と、もう一つは子どもさんと遊び場づくり。これは子どもがどういう遊びをしたいかということを含めながら検討して今後そういったことに取り組みたらというような提案をいただいた。この2点でよいか。

高津部長 はい。

会長 健全育成部会の方からはあいさつ運動とかあるいはボランティア体験の機会を子どもさんに与えたらどうかというようなこと。それによっていろいろな体験をすることが出来るんじゃないかということ。大きく分けてこの2つの提案と、もう1つはメディアについて。メディアのことをチラッと言われたが、もうちょっと詳しくご説明いただけないか。

森田教頭 メディアについては、今多くの生徒がスマホとか携帯を持つような時代になってきた。持つなという指導ではなく、メディアをどう使っていくかとか機器をどう使っていくかを学んでいかないといけないと思っている。遅くまでゲームなどをして睡眠時間が少なくなり朝から眠たそうな顔をしてやってくる生徒も見受けられるのが実情。ゲームだけではなく、江府町ではないが他の町村にそういった機器を使って、出会い系のサイトで見ず知らずの人に会って犯罪に（巻き込まれる）、というケースも実際ある。そういったメディアの使い方について1つの家庭だけで頑張ってもそれはうまくいかないわけで、江府町内の各家庭でルールを決めてメディアは何時になったらやめましょうというようなことをルール化していくことは大事じゃなかろうかというところで話をしているところ。

会長 ありがとうございます。詳しく説明をいただいた。スマホとかパソコンとかの使い方、十分気を付けていかないと、いつ犯罪に巻き込まれるか分からない時代にもうすでにきている。先ほど言われたような対応も必要じゃないかと思い聞いていた。大きく分けて3つの提案をいただいた。またあとでこれについて協議をさせていただけたらと思う。

地域活性化部会は、下蚊屋の荒神神楽の皆さんにお世話になって、子どもさんにまず見てもらおう、知ってもらおうということから始めてみようということ。そして、自分達でやってみたいという子どもさんが出てくれば、これから義務教育学校になるわけだから、1年生から9年生まで1つの学校というくくりでやれば、上は9年生から下は3年生か4年生かわからないが、そういった一体化で、この神楽が出来たらというようなことまで発展していけばいいなということで提案をされた。その他社会福祉協議会のことも言われた。振替休業ということで、土曜日に学校があれば月曜日は子どもさんが休みになる。ところが月曜日は、親御さんはお勤めがあるということから、かなり子どもさんが過ごされているという状況がある。これ（月曜日の子どもの受け皿）は社会福祉協議会がやっているわけだが、それを利用していろいろな集落に出かけることによって、その集落との交流を広げたらと。これは将来的な考えだが、そういった提案を部長がされたということ。

1つの部会から2つあるいは3つ（アイデア）が出た。とりあえず当面の間目標としてあげさせていただき、実際に取り組めるもの、例えば野菜作りの支援ボランティアさん。夏野菜はすでに済んだので、次は秋（の野菜）、白菜とか大根とかそういうものになるんじゃないかと思う。そういったものの支援とか。遊び場づくり、これは子どもさんから提案されたもので作ったらどうかということ。それからこれからどういう取組方をするかということも検討していかないといけないと思う。それぞれメディアに対する取組とかボランティア体験とか、あるいは荒神神楽さんとか。そこで今年とりあえずこれから始めてみようというものを出来たら1つずつに絞ることは出来るか。みんないっぺんにやるのは大変だと思うが。即出来るものとそうでないもの、後回しになるものもあろうかと思う。今年度3月までにこの中で出来るものはなんだろうかというものを考えていただけたら、少しでも一歩でも早く取り組めるんじゃないかなと思う。それぞれの部会の方でもう少し、これから始めたらどうだろうかということがあったら。あるいはそれぞれ他の部の意見の中で、じゃあ今年はこれとこれからやったらすぐ出来るんじゃないかなというご意見があったら聞かせていただきたいと思う。どうか。他の部のことでも良い。これはぜひやられたら取組やすいじゃないかというのがあったら。

委員 今今はコロナがあるので人が集まることとかそういうことに対しての対策を考えていかないといけないので、全部を3月までにというのはちょっと難しいんじゃないかと思うが、どうだろうか。

会長 確かにそれぞれの対応をしていかないといけないが、例えば野菜作りの支援とかは、全員が出て押し寄せるわけではないので、そこらへんはうまく取り組めるかなと思う。他の部に対して、先ほどのような意見も重要なことだと思うが。

委員 なかなか今日出して今日すぐ何するかっていうのはちょっと難しいような気がする。またその議題は、次でもいいんじゃないかと思うが。

会長 それでも構わない。

委員 自分はみんなで1個をやるというわけではなく、同時進行で出来るのからやればいいんじゃないのかなと思う。別にみんなで1個のことに絞ってこうということではなくても、出来ればやればいいし、無理だったらそこはやめとけばいいしということなので、今年は何が出来るかなという感じで出来ることは同時進行でやっていったりするといいのかなと思うが。何も出来ませんねということでもないし、1個に絞るといっていいことでもないと思うので、出来ることを出来るようにやるということなのかなと思っているところ。

会 長 言われる通り。皆さん方の意見は大きなものから小さいものまである。健全育成部会から出ていたスマホの使い方とか、あるいはそういった取組とかこういうのは割と出来やすいじゃないかなど。会議の中で、先ほど言われたように「10時で皆さんやめましょう」とか、そういったようなことを決めるのも1つの取組だと思って聞いていた。言われるように出来るものからやっていく。確かにたくさん集めて物事を進めていくのは先ほどの意見のように今のようなコロナ対策が必要な状況だと非常に難しいと。なので、下蚊屋の神楽を小中学生がみんなでやるというのは難しいのかなど。あるいはやるんだったら町の体育館で密にならないように距離をとって短時間でやるとか。方法はあろうかと思うが、そこら辺のことを踏まえながら皆さん方の意見を出していただいて物事を進めれたらと思う。どうか。

事務局 第1回(部会)でたくさんの方の意見を出していただいて、今こうやって話し合いでもいろいろな方の発言が耳に入ってきて本当にいい話し合いをしていただいているなど思っているところ。あとは学校との連携みたいなところもあったりとか、(学校の)スケジュール感というものもあったりとかを考えた時に、仮にここでこれと言っていたが学校のスケジュール的には難しいということもあったりするかもしれない。なので、今回の話し合いの中で出てきたものを、学校の代表として校長先生が出てくださっているの、1回それを検討していただくというか、こういうふうな形なら出来るねとか、こういうふうな形が一番子ども達にとっていいねということ、1回学校に持ち帰ってもらって検討してもらって、例えば2学期はじめ、9月くらいにこういった形でやるんだしたら出来るんじゃないかとか、これは問題があってちょっと難しいかもしれないみたいなことを含めて皆さんにお諮りし、話し合いをしていただくというのがいいのかなど思ったところ。今日のところとしてはこういうことが出来るんじゃないかということを引き受けて、あとは事務局が小中の教頭先生、わたしも事務局になっているので、とりあえずこの案についてはこういうふうにしたら出来そうとか、これはちょっとコロナの関係もあって難しいねとかいうことも含めて、こんなふうに事務局として考えていますみたいなことを出させてもらった上でまた話をしていった方がより現実に近くなるのかなと思う。

会 長 ありがとうございます。1回学校で先ほどのそれぞれ出していただいた意見、計画に対して再協議をしていただいて、学校での取組がどのようにしたら出来るかというのを協議していただくということを事務局から提案いただいた。そういった進め方をさせていただいてよろしいか。

委 員 はい。

会 長 では、委員の皆様方にご承諾いただいたようなので、今提案いただいた、それぞれ3つの部会から出していただいたものについて(事務局で)協議していただき、そして次の会でそれをどうしたら出来るかということで提案していただくということ。それで進めさせていただきますと思う。よろしくお願ひしたい。

#### 4 その他

##### ※第3回協議会の開催日についての協議(9月中旬以降に開催)

会 長 いろいろと協議していただきありがとうございました。どういうものに取り組めるかということ、それぞれ提案していただいたので、これが少しでも進むように検討していきたい。第3回、次の協議会の開催を9月中頃くらい、運動会が済んだ後くらいでということ

提案させていただき、ご了解いただいた。以上で終わらせていただきたいと思いますがいかがよろしいか。なにかご意見があれば言っていただければ。

委員 ボランティアに来ていただく方もだし、子どもが出る場合もだが、ボランティア保険が必要だと。その予算は立ててないのかなと。

事務局 ボランティアの保険は（予算化して）ない。いわゆる学校地域協働活動の今までやっていた学校お助け隊の部分についてはメンバー登録しておられる方は（保険加入しておられる）。事務局でもう1度確認するが、保険のことについては予算化のことも考えないといけないと思う。

委員 してもらうのに怪我とか事故でもあるといけないので、確認をお願いしたい。

委員長 最後の挨拶を井上副会長さんをお願いします。

副会長 遅い時間まで協議していただきありがとうございました。今日実質的な内容が提案されたので、これが次回の会でいいものが決定出来るよう次回もよろしくをお願いします。ご苦労さまでした。

## 5 閉会